



まるで乳首を責められるたび

潜入スパイ

時雨マユミ

乳首快樂調教編



あの絶頂から
ずっと体が
疼くっ…♡

…ダメだ

うっ…くそっ…

フー♡

フー♡



まるでこの体が
…もう二度

あの
絶頂を欲してるみたい…

うっ…

うっ…

うっ…



さらに乳首も
…うずうずして…
刺激を欲しがってる…

くそおっ…♡

もじ♡

もじ♡

いつまで
焦らすんだ…!!

うっ…

数時間前
イカされた後
マユミは

じゃ
最後に

これ塗って
一旦終わら
ましようか♡

淫乱に
なれ♡

淫乱に
なれ♡

さらに
乳首とマンコに
媚薬クリームを
塗られ

そして
塗られた
あとは

再びスーツの
チャックを
あげられ

一晩放置
させられて
いた

そして乳首と
アソコが媚薬で
熟成され：

マユミは
体が疼き
ムラついていた
のだった…

これで
おわり！？

そして
ようやく

は〜い♡

ちゃんと
クリームの
効果出てた？

黒服だった
女たちが現れ

水着姿の
ユキエと

もうだいぶ
肌に浸透して
体ムラついてきた
と思うけど…

安心して頂戴♡
今日は…

第二の
乳首快樂調教が
始まるうとしていた





さらに
乳首を性感帯として
開発していくよ♡



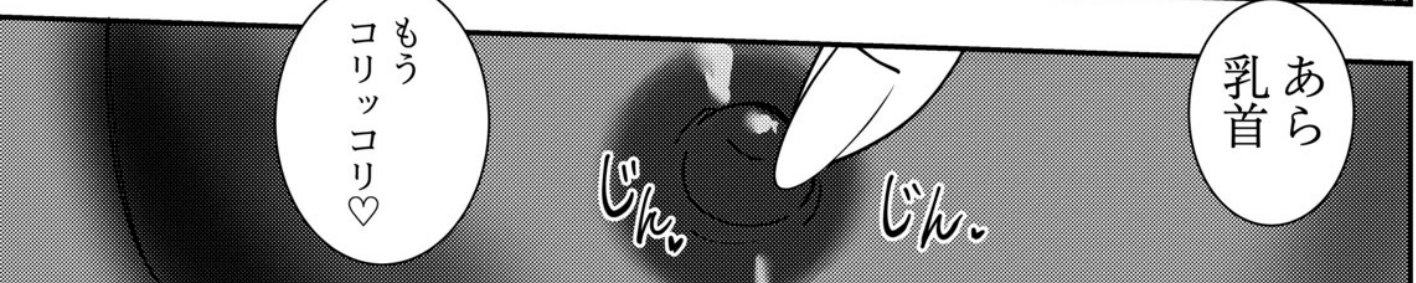
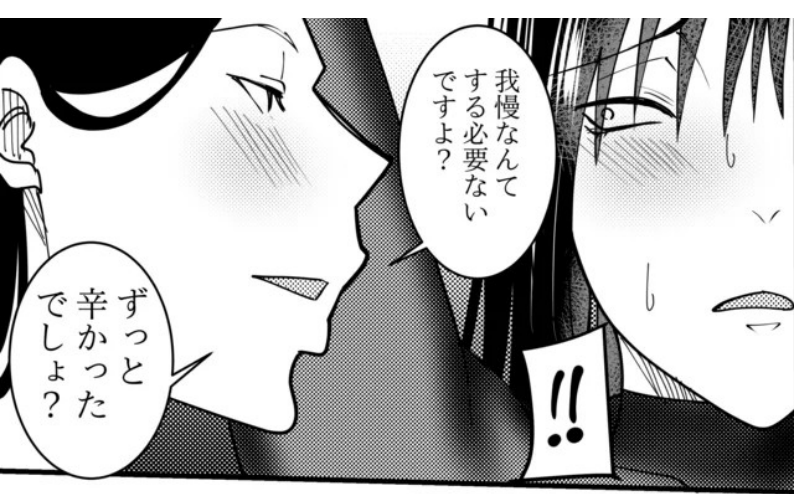
あら?

随分
感度上がったん
じゃない?

良い
兆候ね...♡



今...私の
声...!?









気持ちいい…けど
イけないくらいの
焦った快感が…

やめっ♡

あ♡

へっ♡

へっ♡

へっ♡

どっ♡

どっ♡

どっ♡

キッ♡

キッ♡

キッ♡

スリ♡
スリ♡

乳首と
アソコから
全身に響いて…

エラ♡
も♡

ビク♡

ガッ♡

♡♡♡♡♡

キュ♡

キュ♡

ガッ♡
ビク♡

くうう…子宮が
疼くうっ♡
…腰が…勝手に
ビクビクしてる♡

こゝんなこと
…いつまで我慢すれば
いいの…!!

そこから
3時間
マユミは

イク寸前まで
気持ちよく
させられるが

イかせてもらえない
責めを
されていた

マユミは
アソコを今すぐ
いじりたかったが
…手は拘束
されたまま…



マユミのアソコは
もう媚薬と
愛液でムレムレ
になり

スーツの内側は
もうびしょ濡れ
だった

刺激はローターの
弱い刺激のみで
気がおかしくなりそう
になっていた

しかしそんなの
お構いなしに
ユキエたちは

マユミの
乳首を開発
しつづけた



あちゃ。

あちゃ。

じっくり
ねっとり
責められた末

着実に
マユミの乳首の
感度は上がって
きており…



マユミは
人生で初めて

乳首の快楽に
溺れていた：

あらあら
ダメよ？

そんなに
おっぱいで
感じてちゃ

赤ちゃんに
吸われた時も
喘いでしまう
わよ？

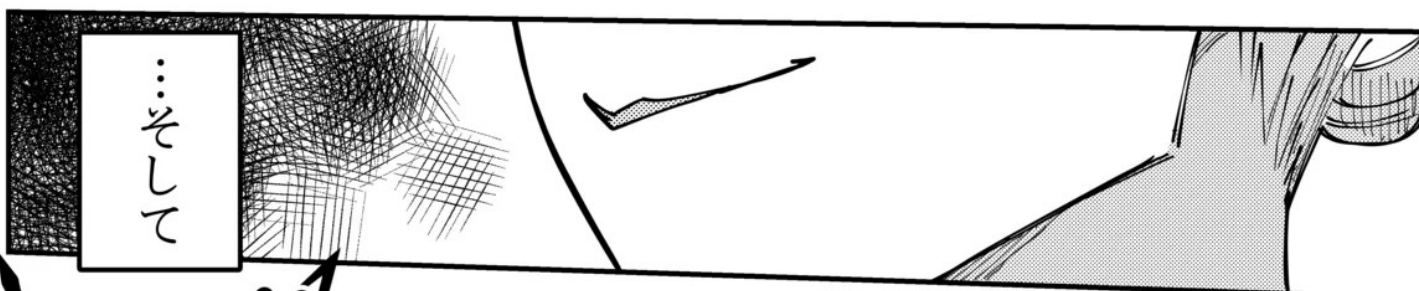
…っ♡





言いますっ
言いますのでっ

イかせて
くださいっ
♡



…そして



情報を一つ
喋るごとに

ローターのバイブ
が強くされて
いった

マユミは人生初の
屈辱感と恥辱感に
苛まれながら

情報と愛液を
吐き出し
苦汁を味わい

絶頂の快楽を
楽しんだ：

